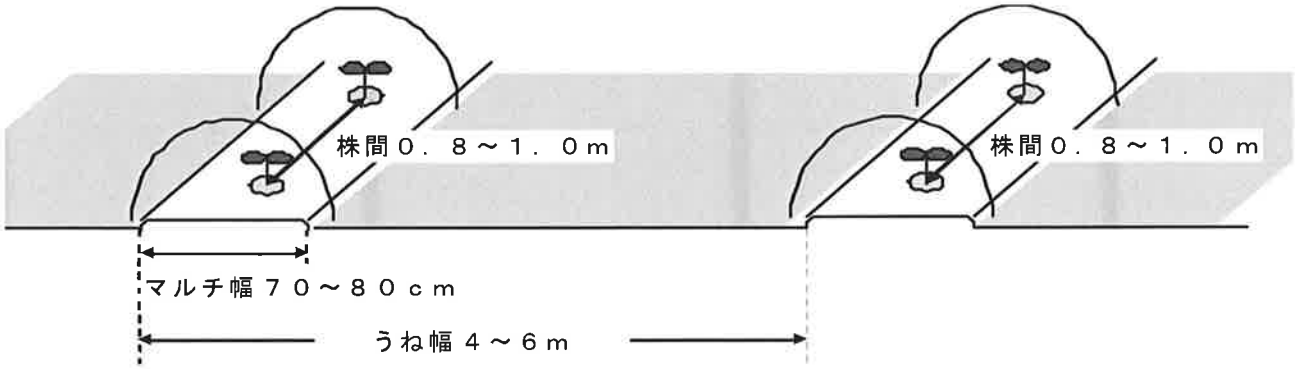
栽培指針（平成２７年産ＪＡおおぞら肥料・農薬・資材注文書添付用）

すいか　【品種】星きらら（大和農園）、甘泉（丸種）

目標収量：5,000kg/10a

月旬	4		5			6			7			8		
作型	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
小型トンネル														
作業内容	順化	定植	トンネル穴開け		追肥	トンネル除去	整枝	着果	摘果			収穫始め		

１．植栽基準（１０ａ当り１７０～２５０株）



（注１）株間をせまくすると、トンネル除去時に株がからみ作業が煩雑となりやすい。

２．施肥基準（kg/10a）

肥料名	総量	基肥	追肥	
			第１回	第２回
粒状固形３０号	120	40（定植幅）	80（トンネル脇）	
ＢＢＳ３３３号	60	20（定植幅）	20（トンネル脇）	(20)
ＢＭようりん	40	40（ 全面 ）		
菜種油粕（注１）	30		30（トンネル脇）	
苦土石灰	120	120（ 全面 ）		
完熟堆肥	2,000	2,000（ 全面 ）		

（注１）菜種油粕を使用しない場合、第１回追肥のＢＢＳ３３３号を10kg程度増やす。
（注２）第２回の追肥は玉のびを確保するため草勢をみながらつる先に施用する。
（注３）　ｐＨが高い場合は、苦土石灰の量を減らす。

３．病害虫防除基準

（平成２６年１２月３日時点）

対象病害虫	薬　剤　名	安全使用基準			備　考
		希釈倍率等	収穫前日　数	使用回数（以内）	
つる枯病、べと病、疫病、褐斑細菌病、炭疽病	ジマンダイセン水和剤	400～600倍	７日	７回	
つる枯病、炭疽病	ダコニール１０００	700～1,000倍	３日	５回	炭疽病は700倍
疫病、褐色腐敗病	リドミルMZ水和剤	1,000倍	７日	３回	ジマンダイセンと同成分を含む
うどんこ病、つる枯病、炭疽病、ハダニ類	ポリベリン水和剤	1,000倍	前日	４回	うどんこ病は1,000～2,000倍
疫病、斑点細菌病、べと病	Ｚボルドー	500倍	－	－	疫病は500～800倍 100～300L/10a
アブラムシ類、アザミウマ類	アドマイヤー１粒剤	1～5g/株 （但し3kg/10aまで）	定植時	１回	多発ほ場では使用のこと 植穴土壌混和 アザミウマ類は1～2g/株

※ 農薬を使用する際は、必ずラベルを確認し使用基準を守って使用すること。
※ 散布後はタンク、ノズル内に農薬が残らないよう、しっかり洗浄すること。
※ 防除は、他の作物へ農薬が飛散しないよう注意して行うこと。